

Indicators Update

2013年2月1日 全4頁

12月雇用統計

底堅い動きを継続

経済調査部
久後 翔太郎

[要約]

- 2012年12月の完全失業率(季節調整値)は4.2%となり、前月から0.1%pt悪化した。就業者数の減少に加え、失業者数が増加していることを考慮すると内容は良くない。12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍となり前月から0.02pt改善した。雇用関連統計を単月で見ると、就業者数の減少と失業者数の増加から、内容は良くなかったと考える。しかし、均してみると、失業率は横ばいで推移しており、底堅い動きが継続していると考えられる。また、新規求人数、有効求人数ともに前月に引き続き増加していることから、明るい兆しを期待させる内容であった。
- 労働力調査によると、就業者数(季節調整値)は、前月差▲35万人と2ヶ月連続の減少となった。業種別に見ると、製造業および建設業での減少が目立つ。製造業の就業者数は前月差▲27万人、建設業は同▲30万人と、ともに2ヶ月連続で減少した。
- 中国、米国を中心とする海外景気の回復に伴い、輸出の増加が見込まれることから、生産の回復が期待される。生産が回復してくれば、製造業での雇用調整圧力は減少し、雇用環境は徐々に改善していくと見込まれる。

図表1：雇用関連指標の推移

		2012 9月	10月	11月	12月	出所	
完全失業率(季節調整値)	%	4.2	4.2	4.1	4.2	総務省	
有効求人倍率(季節調整値)	倍	0.81	0.80	0.80	0.82		
新規求人倍率(季節調整値)	倍	1.24	1.29	1.31	1.31		
名目賃金指数	現金給与総額	前年比,%	▲0.5	▲0.4	▲0.8	▲1.4	厚生労働省
	所定内給与	前年比,%	▲0.4	▲0.1	▲0.1	▲0.2	
労働時間指数	総労働時間	前年比,%	▲1.5	1.1	1.6	▲1.3	
	所定内労働時間	前年比,%	▲1.5	1.4	1.8	▲1.1	
	所定外労働時間	前年比,%	▲2.0	▲3.1	▲2.2	▲3.1	

(出所)各種統計より大和総研作成

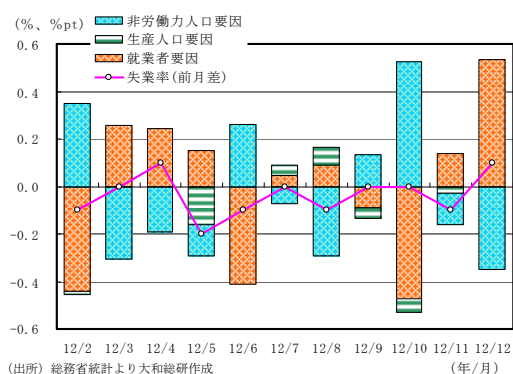
12月完全失業率：前月から0.1%pt上昇

2012年12月の完全失業率(季節調整値)は4.2%となり、前月から0.1%pt悪化した。失業者数は前月から7万人増加し、非労働力人口は24万人の増加、就業者数は35万人の減少となった。就業者数の減少に加え、失業者数が増加していることを考慮すると内容は良くない。

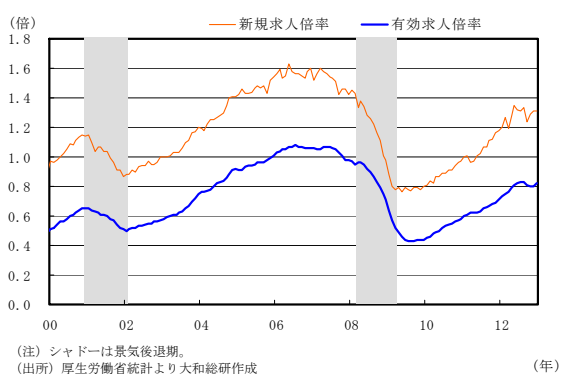
12月の有効求人倍率(季節調整値)は0.82倍となり前月から0.02pt改善した。内訳をみると、有効求職者数が4ヶ月ぶりに減少した一方、有効求人数が2ヶ月連続の増加となった。有効求人倍率に先行する新規求人倍率は1.31倍となり、前月と同水準であった。内訳をみると、新規求人数は前月から増加、新規求職申込件数も3ヶ月ぶりの増加となった。

労働力調査の結果を単月でみると、就業者数の減少と失業者数の増加から、内容は良くなかったと考える。しかし、均してみると、失業率は横ばいで推移しており、底堅い動きが継続していると考えられる。また、新規求人数、有効求人数ともに前月に引き続き増加していることから、明るい兆しを期待させる内容であった。

図表 2-1：失業率の要因分解



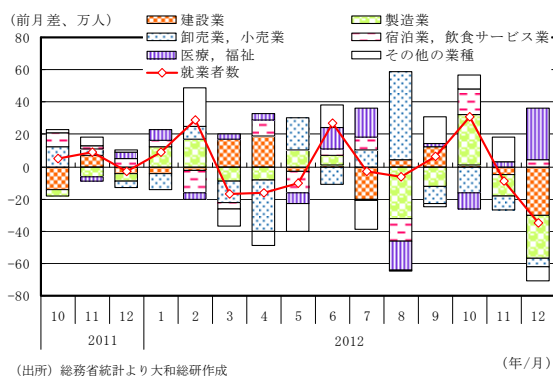
図表 2-2：有効求人倍率と新規求人倍率



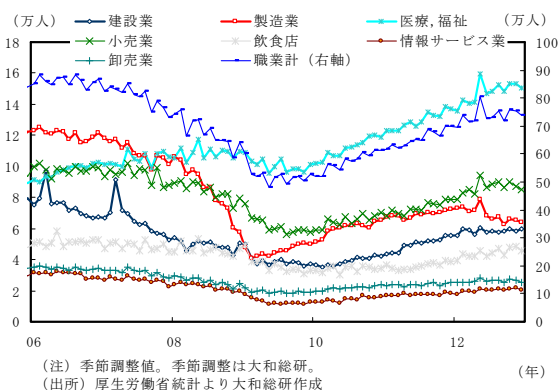
業種別の動向：建設業、製造業の就業者数が大幅減

就業者数(季節調整値)は、前月差▲35万人と2ヶ月連続の減少となった。業種別に見ると、製造業および建設業での減少が目立つ。製造業の就業者数は前月差▲27万人、建設業は同▲30万人と、ともに2ヶ月連続で減少した。新規求人数を見ても、製造業は他の業種と比較し、弱い動きが継続していることから、足下で製造業の雇用調整圧力が継続していることを確認する内容であった。一方、医療・福祉での就業者数が前月差32万人と大幅に増加したことで、全体の就業者数の減少が抑えられる格好となった。

図表 3-1 : 業種別就業者数



図表 3-2 : 業種別新規求人数

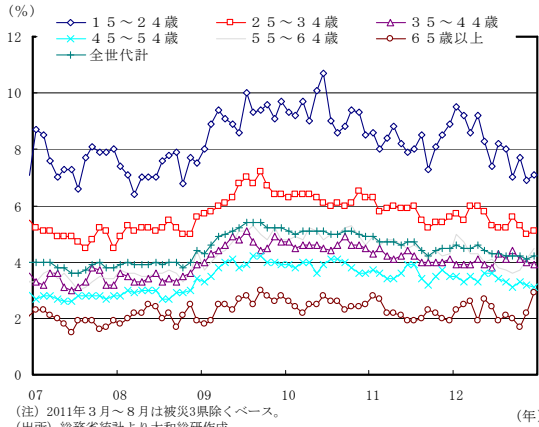


雇用環境の先行き：徐々に改善へ

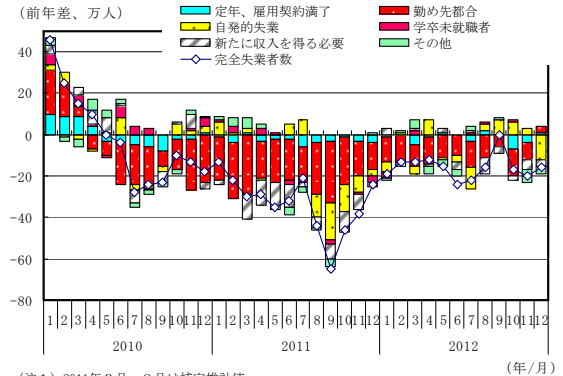
大和総研では、生産の回復を待って、雇用環境は徐々に回復傾向となると見込んでいる。中国、米国を中心とする海外景気の回復に伴い、輸出の増加が見込まれることから、生産の回復が期待される。生産が回復してくれば、足下で雇用環境を下押ししている製造業での雇用調整圧力は減少することから、雇用環境は徐々に改善していくと見込まれる。

雇用・所得概況

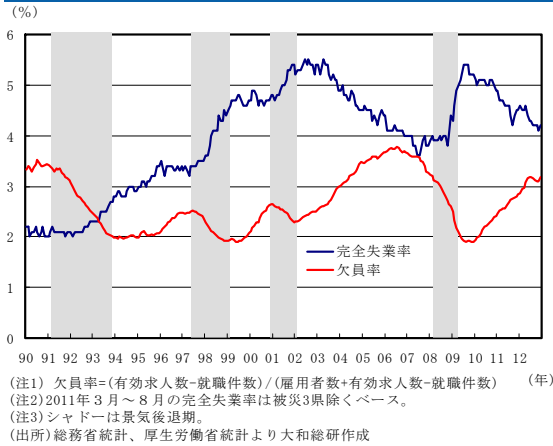
世代別完全失業率



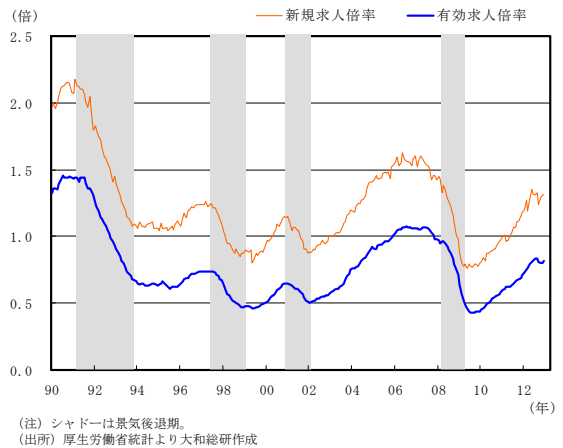
求職理由別失業者数



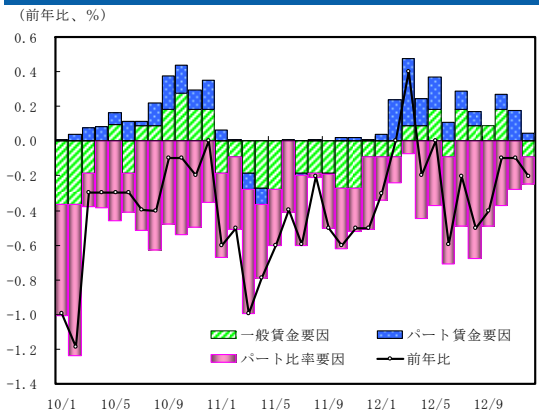
完全失業率と欠員率



有効求人倍率と新規求人倍率



所定内給与の要因分解 (5人以上、全規模)



所定内給与の推移 (5人以上、全規模)

